



## 地域のこころの繋がりを 何よりも大事にしたい。

舎人川上流に落差44mの滝がある。今滝だ。その豪快な水景色を楽しみつつ、溪流にせり出した川床ならぬ「滝床」で料理を味わう催しが湯梨浜名物となっている。いっその賑わいのため、料理だけでなく趣きあるモノの販売はどうだろうという案に応じ、中村祐子さんは仲間とともに、東郷池名産のシジミの貝殻を素材としたユニークなストラップなどを作り始めた。実家が奈良時代から伝わる歴史的工芸品・因州和紙の生産に携わり、紙漉きの現場も見て育ったからモノづくりの素養があつたにちがいない。魅力的な手づくり小物は人気を呼んだ。それを機会に自然発生的に生まれたのが、気ごころ知れた仲間たち8人の私設プロジェクト「わいわいカンパニー東郷池」だ。まち活性化にひと肌脱ごうという心意気である。

メンバーの一人が持主であつた借家を拠点として週に1回開催するフリーマーケットは、活況を呈した。地元の観光名所・燕趙園の燕と、宴と縁を合わせて名づけた「燕宴縁(えんえんえん)」という華やかな婚活イベントは、「ふた組だけでしたが実りました」。そうした活動の歴史は仲間の財産でもある。

「地域のこころの繋がりを大事にしたいというのが、私たちグループの最大の願いです」。経験と知恵を生かして、「よろず相談」的な役割も果たしていきたい。残念ながら当初のメンバーのうち2人が病で旅立ち、今は6人。こころざしは高く、絆は強い。

中むら呉服店

中村祐子



ゆ  
う  
ゆ  
う、  
ゆ  
り  
は  
ま